

## 【使徒の働き 23 章】

「勇気を出しなさい。あなたは、エルサレムで私の事をあかししたように、ローマでもあかししなければならない。」(23 : 11)

### Message

弁明をしているパウロの証を人々は静かに聞いていましたが、**死者の復活**という事に話が及ぶと、パリサイ派とサドカイ派の間に意見の衝突があり、議場は大騒動になりました。千人隊長はパウロの身の危険を察し、兵営に力づくで連れてきます。疲労困憊し、勇気を失っていたのでしょう。私たちもそんな目に合うこともあるでしょう。そんな時パウロの様に、神からの言葉をいただくかどうかによって人生は大きく変わっていきます。「**勇気を出しなさい**。」パウロに神は語りかけられました。次の使命を果たす為に、勇気を下さるのです。神様はパウロに「エルサレムで証したようにローマでも！」行って証しするように語りかけられます。しかし現状はユダヤ人 40 名以上の者が徒党を組み、パウロを殺すまでは食べないと誓い合っていたそのような中です。

16 節～「ところが、、、」とあります。神の言葉は受けたものの、人の力ではどう仕様もないそのような絶体絶命の中に、全知全能の**神の愛のご配慮の手が入られます**。パウロの甥がその陰謀を聞いて、それは千人隊長に知らされるのですが、千人隊長は歩兵 200 名、騎兵 70 人、槍兵 200 名をつけてパウロをエルサレムから総督ペリクスのもとに届けたのです。千人隊長がパウロに好意的であったかもしれませんが、あるいはただ暴動を起こされては困ると言う理由からかもしれないですが、ともかく 1 囚人の為に 470 名の兵隊が用意されたというのにはあり得ないことです。

**神に心を向けて聞き従っていくなら、神様の守りを経験し、神ご自身が素晴らしい偉大な力を持ってみわざを進められることを、パウロはどんなにか実感したことでしょう。**ユダヤ人の陰謀は全く水泡に帰してしまいました。ハレルヤ！パウロの「ローマ行きの幻」使徒 19 : 21 はこのようにして一步一步進められていったのです。あなたに与えられた幻成就のために、神様はどんな手を使って、あなたを守り助けて、前進させてくださることでしょう。



(天に登録されている長子たちの教会)

**Church of the Firstborn who are Registered in Heaven**

主任牧師：イエス・キリスト 牧師：ダニエル大重

## SHIROAM

【遣わされた者】

**2011.7.3 No.638**

神が遣わした者を信じること、それが神のわざです。

ヨハネ 6 : 29

### Picture



**Tel&Fax: 048-689-0048**

皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。  
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。

主の十字架クリスチャンセンター (TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center